2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(星	配間部)	科	目	区	分	専門分野	授業の方法		演習	N N
科目名	実践臨床画像学		必修	/選	択o	D別	必修	授業時数(単位数)	90	(2)	時間(単位)
対象学年	3年次		学期	及ひ	曜日	寺限	通年	教室名	エック	ウス線	実習室
担当教員	小松 裕司	実務経験と その関連資格									

《授業科目における学習内容》

診療画像検査学で学んだ知識・技能を用い、医療現場における放射線機器等の取扱い、患者への対応及び検査に関わる説明、チーム医療及び他職種との連携、医療情報の取扱いについて実践的に学習する。

《成績評価の方法と基準》

技能試験(70%) 出席点(20%) 平常点(10%)□

《使用教材(教科書)及び参考図書》

使用教材:橋本光康『RT臨床実習ルートマップ』金原出版株式会社 2021年

《授業外における学習方法》

演習で教員から指摘された内容については、次回の演習で実施できるように練習しておくこと。

《履修に当たっての留意点》

体系的に学習した知識・技術を、臨床現場で実践できるように演習を行う。演習に関して真剣に取り組むこと。

授第			内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	診療放射線技師業務を理解し、実践力を身に付ける	教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、	
1	目形式	各コマに おける 授業予定	病院における診療放射線技師の業務と特徴	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	診療放射線技師業務における感染管理を実施することができる	教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、	
2	智形式	各コマに おける 授業予定		配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	ボディメカニクスを用いた患者移乗を実施することができる	教科書 配布資料	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、 理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。	
3 🗓	習形式	各コマに おける 授業予定	患者の移乗・移送			
第	演習	授業を 通じての 到達目標	ボディメカニクスを用いた患者移乗を実施することができる		教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、	
4	音形式	各コマに おける 授業予定	患者の移乗・移送	教科書 配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	適切な患者接遇やポジショニングを実施することができる	数利 妻	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、	
55回	貿形式	各コマに おける 授業予定	患者接遇・ポジショニング	教科書 配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。	

	業の 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第。	演習	授業を 通じての 到達目標	適切な患者接遇やポジショニングを実施することができる	一教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、理解ながあるとします。
6 □	形 各コマに おける 授業予定		患者接遇・ポジショニング	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。
第	演習	授業を 通じての 到達目標	一般撮影・ポータブル撮影における実践力を身に付ける	一教科書	教科書や配布資料を用 いて予習、復習を行い、
7 回	形式	各コマに おける 授業予定	患者対応(一般撮影・ポータブル撮影)	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。
第	演習	授業を 通じての 到達目標	一般撮影・ポータブル撮影における実践力を身に付ける	一教科書	教科書や配布資料を用 いて予習、復習を行い、
8 □	形式	各コマに おける 授業予定	患者対応(一般撮影・ポータブル撮影)	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。
第	演習	授業を 通じての 到達目標	CT検査における実践力を身に付ける	一教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、
9 回	形式	各コマに おける 授業予定	患者対応(CT)	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。
第	演習	授業を 通じての 到達目標	MRI検査における実践力を身に付ける	一教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、
10回	形式	各コマに おける 授業予定	患者対応(MRI)	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。
第	演習	授業を 通じての 到達目標	血管造影検査における実践力を身に付ける	一教科書	教科書や配布資料を用 いて予習、復習を行い、
11	形式	各コマに おける 授業予定	患者対応(血管造影)	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。
第	演習	授業を 通じての 到達目標	核医学検査における実践力を身に付ける	一教科書	教科書や配布資料を用 いて予習、復習を行い、
12回	形式	各コマに おける 授業予定	患者対応(核医学)	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。
第	演習	授業を 通じての 到達目標	放射線治療における実践力を身に付ける	一教科書	教科書や配布資料を用 いて予習、復習を行い、
13 回	形式	各コマに おける 授業予定	患者対応(放射線治療)	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。
第	演習	授業を 通じての 到達目標 造影検査時の副作用に対して対応することができる。		一教科書	教科書や配布資料を用 いて予習、復習を行い、
14 回	百形式	各コマに おける 授業予定	造影剤副作用への対応	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。
第	演習	授業を 通じての 到達目標	放射線検査の説明・相談に対応することができる	数私妻	教科書や配布資料を用 いて予習、復習を行い、
15 回	育形式	各コマに おける 授業予定	放射線検査説明・相談対応	─教科書 配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(星	配間部)	科	目	区	分	専門分野	授業の方法		演習	7 1
科目名	実践臨床画像学		必修	/選	択o	D別	必修	授業時数(単位数)	90	(2)	時間(単位)
対象学年	3年次		学期	及び	曜日	時限	通年	教室名	エック	ウス線	実習室
担当教員	小松 裕司	実務経験と その関連資格									

《授業科目における学習内容》

診療画像検査学で学んだ知識・技能を用い、医療現場における放射線機器等の取扱い、患者への対応及び検査に関わる説明、チーム医療及び他職種との連携、医療情報の取扱いについて実践的に学習する。

《成績評価の方法と基準》

技能試験(70%) 出席点(20%) 平常点(10%)□

《使用教材(教科書)及び参考図書》

使用教材:橋本光康『RT臨床実習ルートマップ』金原出版株式会社 2021年

《授業外における学習方法》

演習で教員から指摘された内容については、次回の演習で実施できるように練習しておくこと。

《履修に当たっての留意点》

体系的に学習した知識・技術を、臨床現場で実践できるように演習を行う。演習に関して真剣に取り組むこと。

授第			内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	演習	授業を 通じての 到達目標	客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する	教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、
16 回	自形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。
第	演習	授業を 適にての 到達目標 客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する		***************************************	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、
17 回	音形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	教科書 配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。
第	演	授業を 通じての 到達目標	客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する	*********	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、 理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。
18 回	習形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	教科書 配布資料	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する	**** 의 · 클+	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、
19	習形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	教科書 配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。
第	演習	授業を 通じての 到達目標	客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する	教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、
20回	貿形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。

	授業の 方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する	一教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、	
21 回	形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する	一教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、	
22回	形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する	一教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、	
23	形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する	一教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、	
24回	形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する	一教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、	
25 回	形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する	一教科書	教科書や配布資料を用 いて予習、復習を行い、	
26回	形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する	一教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、	
27 回	形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。	
第	演習	授業を 通じての 到達目標 客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する 到達目標		一教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、	
28	形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する	一教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、	
29 回	目形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する	一教科書	教科書や配布資料を用 いて予習、復習を行い、	
30回	百形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練習する。	

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(昼間部)	科目区分	専門分野	授業の方法	演習
科目名	実践臨床画像学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対象学年	3年次	学期及び曜時限	通年	教室名	エックス線実習室
担当教員	小松 裕司 実務経 その関連				

《授業科目における学習内容》

診療画像検査学で学んだ知識・技能を用い、医療現場における放射線機器等の取扱い、患者への対応及び検査に関わる説明、チーム医療及び他職種との連携、医療情報の取扱いについて実践的に学習する。

《成績評価の方法と基準》

技能試験(70%) 出席点(20%) 平常点(10%)□

《使用教材(教科書)及び参考図書》

使用教材:橋本光康『RT臨床実習ルートマップ』金原出版株式会社 2021年

《授業外における学習方法》

演習で教員から指摘された内容については、次回の演習で実施できるように練習しておくこと。

《履修に当たっての留意点》

体系的に学習した知識・技術を、臨床現場で実践できるように演習を行う。演習に関して真剣に取り組むこと。

授第			内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	演習	授業を 通じての 到達目標	客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する	教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、
31 回	自形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。
第	演習	授業を 通じての 到達目標	客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する	***************************************	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、
32 回	智形式	各コマに おける 授業予定	S OSCE	教科書 配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。
第	演習	授業を 通じての 到達目標	客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する	*** 의 = +	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、 理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。
33 回	習形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	配布資料	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する	数 む事	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、
34 回	習形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	教科書 配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。
第	演習	授業を 通じての 到達目標	客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する	教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、
35	貿形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。

	授業の 方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する	一 教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、	
36回	形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する	一教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、	
37 回	形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する	一教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、	
38回	形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する	→教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、	
39 回	形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する	一教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、	
40回	形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する	一教科書	教科書や配布資料を用 いて予習、復習を行い、	
41 回	形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する	一教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、	
42 回	形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。	
第	演習	授業を 通じての 割達目標 客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する		一教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、	
43 回	形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する	一教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、	
44 回	目形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。	
第	演習	授業を 通じての 到達目標	客観的臨床能力試験を通して、臨床技能・態度を習得する	一教科書	教科書や配布資料を用 いて予習、復習を行い、	
45 回	百形式	各コマに おける 授業予定	OSCE	配布資料	理解を深めるとともに、 演習での指摘事項を練 習する。	